

The magazine for high net worth individuals

spring 2004

SEVEN

MONEY CULTURE

007

世界を舞台に活躍する
資産家のための
マネーマネジメント誌
「セブン・マネーカルチャー」

パトロンへの道・7

和の「文化力」が経済力を支える 大庭正之助

1億円からの資産防衛術・7

欧米資産家に学ぶ資産防衛の哲学 須原勝子

Caro Grati Sport F.C. 2004

クラシックカー・ラリー

大人が
過ごす
ハワイ

特集 Hawaii

健康の秘訣は仕事ですね



誰もが微笑みをもってながめずにいられない、ユーモラスで豊満ながらだつきの、人物や動物の絵や彫刻。ひとたび見たら忘れられないボテロ氏の作品は、どなたも一度はご覧になっていることだろう。世界の都市で野外彫刻展を開催するボテロ氏が、現在は東京・恵比寿ガーデンプレイスで展覧会を開催中。

来日中の氏にプロデューサーの矢幡聰子さんが聞く。

Interview Celebrity -1 Botero

はじめての野外彫刻展は12年前、
パリのシャンゼリゼ通りで開催された
そうです。

そうです。1992年、初めて

野外に自分の作品を、それもシャンゼリゼ大通りに並べました。オランダデザイナーのディディエ・アンペルル氏と出会ったことで、シャンゼリゼでのユニークな彫刻展を開くことになったのです。パリでの成功をきっかけに、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンDC、マドリードなど世界各地で野外彫刻展を行なうました。

どのように大きな彫刻をつくり、
ていて、制作期間はどのくらいか
かるのですか？

これまで5年かけて50体ほどの
彫刻を制作してきました。年間に
一休むとき、制作してきたところは
なりますね。彫像には時間がかかる
あります。

制作は主にトスカーナのアトリエ
でされるのですか？

ええ。ピニトウサンタという町
なので、トスカーナ地方の良
質で豊富な大理石の採掘場に近い
ため、有名な彫刻家がアトリエを
構えています。日本の彫刻家もい
ますよ。

世界中を精力的にまわっている
しゃいますが・・・

一年のうち1ヶ月はトスカーナ
で制作活動をして、その他は離れ
ています。毎月ヨーロッパ各地を
いろいろな展示会の準備などで出
でています。

あちこちにアトリエをお持ちです

矢幡聰子・インタビュアー
CORE S-LTD. 代表取締役。
聖心女子大学卒業後、スイス、フランスへ留学。数年国
連本部、小谷正一事務所を経てCORE S-LTD. を設立。
主な仕事は、国際文化交流事業企画運営、PRコンサル
タント、明星テレビのプロテ
ューター、エッセイストとしても活躍。

が、本当の発点はどちらですか？

パリだと思います。（笑）。

1年のうち5ヶ月は滞在しますので、私は、パリで2年前に初めて会いましたよ。その他はニューヨークに2ヶ月、残りをトスカーナですね。

その中で、お好きな街は？

そうです、これまで15年ニューヨークに住みましたが、好きなのであります。もちろん、25年間アトリエを借りているトスカーナも好きです。快適な場所ですね。

「自身の故郷でいらっしゃるコロンビアの芸術については？」

コロンビアのボガタと生まれ故郷のメデジンに、美術館を建てたのですが、個人的に収集したピカソやシャガールなどの作品を寄付し、展示しています。私の作品も多數展示しています。また、アメリカの芸術家も紹介しています。過去2年間で100万人以上の人々が訪れていました。

コロンビアには、植民地時代の

豪華施設で、多様な芸術品があります。黄金博物館もあります。現代美術館もあります。そういうところの作品を紹介していくんですね。

芸術のインスピレーションはどうからうけるのですか？

世の中のもの全て、といつてもいいと思います。インスピレーションを大切に、また感動したものに對して、素直に感じるように、自分のフレームに当てはめるのです。制作活動自体が、自分の生きる喜びとなっているのです。

今回の展覧会では、なぜ東京という場所を選んだのですか？

今までの野外彫刻展は、シャンゼリゼ通りのように公衆の場所で行つてきました。人が大勢いるところに作品を持ってきて設置し、鑑賞してもらうのです。このやり方で成功してきたのですが、今回東京が「ダンブレイスは、ちょっと違いますよね。私の作品がこの場所に人を招くと言えるで

しょうか。新しい試みかもしません。

せん。今回、日本で野外彫刻展を行なうことが出来、大変うれしく思っています。モルガン・スタン

ーなどの素晴らしいスポンサーの方々の協力を得て、成功できただとおもってます。

これから展覧会の「予定は？」

次はシンガポールでその後は台北です。アジア・ツアーですね。とうとう世界中で展覧会を開くことになりますよ。2006年まで展覧会の予定がさっしきです。

それだけ世界中を回つておられてどうやって健康をキープするんですか？

私は仕事でエネルギーをキープしているようなもの。ワークホリックですね（苦笑）。健康的な秘訣は仕事をです。

どうぞおからだに気をつけて。

今日はどうもありがとうございます。

した。



フェルナンド・ボテロ

1932年、コロンビア生まれ。美しい幼少時代、開拓学校に入るが、絵画に興味あり、画家を志し渡欧。マドリード、フィレンツェで絵画学校に学び、ルネサンス藝術の影響を受ける。1960年にニューヨークに移住。翌61年、ニューヨーク近代美術館(MoMA)が絵画作品「12歳のモナリザ」を購入。対象に大胆なデフォルメを施し、ふくよかに表現するボテロ独特の作風が一躍注目される。1973年に、彫刻の制作を開始。絵画同様、「魅惑」と「質感」を追求した巨大な彫刻作品が世界的な評判を得る。現在、ニューヨーク、パリ、モンテカルロ、トスカーナにアトリエを構える。

ボテロ野外彫刻展

2004年3月31日～7月11日
東京ガーデンプレイス(入場無料)